

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択
担当教員			
辰口 和保			
火1、4			
添付ファイル			

科目の概要	「情報」は情報システムを介することで、さまざまな姿を我々に見せてくれる。情報の姿を明らかにするためには、情報システム活用の基本的技能を身につけなければならない。また、健康栄養学科では実験データの処理や調査データの集計など、コンピュータパワーを利用する場面も多数ある。本講義では、情報システム活用の基本的技能、特にOfficeアプリケーションの活用方法について実際の操作を通して修得し、実務におけるコンピュータパワー利用の基礎を学ぶ。
授業の内容	<p>第1回 はじめに 情報リテラシーとは - 情報リテラシーとメディアリテラシー</p> <p>第2回 プレゼンテーションソフトウェアの基礎 (1) Microsoft PowerPointとImpress - スライドの作成 さまざまなデータの挿入</p> <p>第3回 プレゼンテーションソフトウェアの基礎 (2) Microsoft PowerPointとImpress - プレゼンテーション時の動作</p> <p>第4回 プレゼンテーションソフトウェアの基礎 (3) Microsoft PowerPointとImpress - ノート機能と配布資料</p> <p>第5回 プレゼンテーションソフトウェアの基礎 (4) Microsoft PowerPointとImpress - LibreOfficeによるプレゼンテーション</p> <p>第6回 表計算ソフトウェアの利用 (1) Microsoft Excel - シートとブック 表の作成 表の装飾</p> <p>第7回 表計算ソフトウェアの利用 (2) Microsoft Excel - データ可視化の意味 基本的なグラフ</p> <p>第8回 表計算ソフトウェアの利用 (3) Microsoft Excel - 表示形式 さまざまな関数とその入力方法</p> <p>第9回 表計算ソフトウェアの利用 (4) Microsoft Excel - 条件分岐のための関数 セルの参照</p> <p>第10回 表計算ソフトウェアの利用 (5) Microsoft Excel - データベース操作 データ入力の方法</p> <p>第11回 表計算ソフトウェアの利用 (6) Microsoft Excel - データベース操作 データの活用</p> <p>第12回 データベースソフトウェアの利用 (1) Microsoft Access - 関係データベースとは テーブルの正規化とテーブルの入力</p> <p>第13回 データベースソフトウェアの利用 (2) Microsoft Access - 簡単なデータベース操作 選択クエリ</p> <p>第14回 データベース連携とデータ集計 データ活用 - AccessとExcelの連携 ピボットテーブルの利用</p> <p>第15回 統計と表計算ソフトウェア 統計の意味と計算 - 基本的な統計量 最小二乗法による直線回帰</p>
学習到達目標	Office製品の基本的な操作が行える。 パソコンを用いたプレゼンテーション資料作成が行える。 表計算ソフトを専門分野での学修に利用できる。 データベースの仕組みやソフトウェアでの利用方法を理解している。
授業の方法	パソコンを利用して情報システムの動作の実際を見ながら授業を進める。随時、課題を出題する。
成績評価の方法	課題100% ただし出席状況が芳しくない場合には大幅に減点する。
教科書・テキスト	大阪青山大学・大阪青山大学短期大学部情報教育センター「コンピュータ利用の手引」 その他、適宜、授業中に指示する。
参考書	Microsoft Office ホーム (https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/microsoft-office) その他、適宜、授業中に紹介する。
授業時間外の学修について (事前・事後学習について)	課題を作成し、教材の復習を行うこと。
履修上の留意事項	OAENS利用者登録を行っていること。 ネットワークシステムの利用について理解していること。 (基礎教育科目「情報処理」を履修していることが望ましい。)

オフィスアワー	水曜日13:00～14:30
実務経験	
その他	課題は自力で行うこと。 他の科目との連携を考慮する。 おもにコンピュータ室で授業を行う。 授業の進行度合により、内容を変更することがある。 プリント等の配布は、ひとり1部のみとする。紛失しても再配布しないので注意すること。